

2001年度総合理学研究所 共同研究報告

1. テーマ

健康に関する科学的研究 J-2. 生理活性水の分析と評価

2. 研究メンバー

大石不二夫、西本右子

3. 研究の概要

ある種の水に何らかの処理をほどこすことで、ある機能をもたせた水は「機能水、活性水」と称されることが多い。この「ある種の水」は「純水」であることは稀で、何らかの物質を溶かし込んでいる水溶液であることが多く、水の特性のうち「多くの様々なものを溶かし込む性質」が最も多く関与していると考えられる。水溶液の機能化の方法としては、(A)水にある処理を施す、(B)水のある物質と接触させる、(C)水からある物質を取り除く、(D)水にある物質を加える、の4種が考えらる。本研究では(A)(D)の機能化による代表的な機能水、活性水であり食品添加物として認可が予定されている電解酸性水、(C)(D)の機能化による代表的な機能水、活性水であり飲用水として認可されている海洋深層水を取りあげ、分析、評価法の確立を目指した。

4. 研究成果

研究成果として、以下の学会報告を行った。

- 1) 電解酸性水の有効塩素測定法における各種測定法の比較
西本右子、石田直之、丹羽友和、高木伸司、杉谷嘉則、
日本化学会第79春季年会(平成13年3月)
- 2) 電解酸性水の殺菌作用に対するpHの影響
西本右子、丹羽友和、金木洋一、高木伸司、杉谷嘉則、
日本分析化学会 第61回分析化学討論会(平成12年5月)

関連して以下の報告も行っている。

- 1) 水の基礎知識(1)(2)(3)
西本右子、久保田昌治
フルードパワー,14,No.3,56-60(2000)
フルードパワー,14,No.4,42-49(2000)
フルードパワー,15,No.1,45-49(2001)
- 2) 工業調査会主催講習会 食品分野における電解水の利用とその技術
強酸性電解水の物性評価・分析
西本右子(平成12年4月)